

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努めております。 現在、車椅子の利用児童はいませんが、トイレに行く通路が狭く、玄関に段差があるため、安全面に留意しながら支援をおこなっております。	当事業所は、テナントであるために完全なバリアフリーにするのは難しいですが、支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援をおこなっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日サービス提供後に清掃をおこなっており、心地よく過ごせるよう環境を整えております。 また集団活動や個別活動等、その日の活動や児童の様子に合わせて机の配置を変更して空間を整えております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		部屋が3つに分かれているため、その日の利用児童の様子に合わせて個室を利用し、落ち着いた過ごせるよう配慮しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8		定期的にリフレクション会議をおこない、職員が意見を話し合う機会を設けております。 会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートのご意見やご要望に関しては、職員間で情報共有し、迅速に対応できるよう心がけております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		業務開始に合わせて、一日の流れや療育内容の確認を職員全員でおこなっております。 また、月に1回リフレクション会議を実施し、業務内容や療育の質向上に向けて意見交換をおこなっております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本社研修の動画による社内研修のほか、法定で定められた研修に関しても計画的に実施しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		放課後等デイサービス計画を作成する際には、日頃から利用児童の様子を情報共有する時間を作り、モニタリング前にも改めて職員間で利用児童の成長や課題について話し合っております。 児童発達支援管理責任者を中心に会議をおこない、どのような支援をおこなうべきか検討しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日頃から利用児童の様子を情報共有する時間を作り、モニタリング前にも改めて職員間で利用児童の成長や課題について話し合っております。 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者を中心に会議をおこない、どのような支援をおこなうべきか検討しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		児童発達支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを設定しております。 また、支援計画、支援内容をすべての職員に共有するための打ち合わせをおこない、目標に合わせた支援を提供しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもちろなく聞き取るよう努めております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童発達支援計画や、専門的支援実施計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。 その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・よりよい支援提供に努めております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		基本プログラムを軸に、四季に応じた製作やイベント、運動遊び等、個別活動や集団活動を組み合わせながら楽しく意欲的に活動ができるように工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動や社会性を育むため集団活動も組み合わせながら支援計画を作成しております。 利用児童の特性に応じて、無理なく参加できるような支援方法を検討しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる活動の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日のスケジュールや職員配置、役割分担を把握できるよう打ち合わせをしたうえで可視化し、共通認識を持って支障にあたるよう情報共有をおこなっております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		記録作成時などに気付きや療育内容についての相談など職員間で話し合いをしております。 重要事項については適宜ミーティングを開き、情報共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援内容は必ず記録に残しております。 また、支援をおこなう前に必ず以前の記録に目を通し、様子の詳細や疑問点を職員同士で話し、児童の実態を把握してから支援に臨んでいます。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングをおこない、児童の成長や変化、保護者様のご意向に沿った計画を作成できるよう、見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		利用児童の課題・保護者様のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせ支援計画を練り、支援を行うよう努めております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		その日におこなう活動を事前に伝え、利用児童がスケジュールを自己決定できる機会を提供できるよう心がけております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		児童発達支援管理責任者や管理者が参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて、情報共有、相互理解を図り、より良い支援につなげられるように努めております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		下校時間や行事など、事前に保護者様からいただいた情報をとらえ、送迎の計画を立てております。 また、学校とは送迎時や電話などで情報共有をおこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		相談支援を中心とした連携をおこない、支援内容の情報共有と相互理解を図り、就学後へつなげられるよう努めております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		現在はまだ対象児童はおりませんが、就学に向けた相談があれば、助言や情報提供をおこない、就学先とも連携をとってまいります。	今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関等へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるよう努めてまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けている。	8		現在、児童発達支援センターと連携を図る機会がありません。	今後、必要に応じて連携を図っていきたく思っております。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	個人情報の関係もあり、活動する機会が実現できていませんが、保護者様のご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえ、交流会等の機会を検討してまいります。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		北九州市や聴覚特別支援学校が主催している協議会に参加し、そこで得た知識を職員にも共有しております。 日程の調整が難しい場合もありますが、自身に必要な研修・講演等に参加できるように努めてまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡を通して療育での様子をお伝えし、療育中に見つかった課題などについて、送迎時や家族支援時に情報共有に努めております。 保護者様とのこまめな情報共有で共通理解を図り、よりよい支援につながるよう努めてまいります。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族から障害福祉支援プログラムの（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	6	2	保護者様からの相談に対して、児童の様子を見ながら、適切なアドバイスができるよう努めてまいります。 また児童の発達段階から保護者様にご提案やアドバイスもできるよう努めてまいります。	今後も保護者様の対応力向上を図り、保護者様のニーズに応えていけるよう、寄り添った支援をおこなってまいります。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時には、支援内容や、利用者負担等について、分かりやすく丁寧な説明をいたしております。 また保護者様から質問があった際には、その都度説明に努めてまいります。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		放課後等デイサービス計画の同意をいただく際には、丁寧かつ分かりやすい言葉で説明するよう心がけております。	
	39 家族等からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的に保護者様との面談をおこない、子育てに関するお悩みやご相談をうかがっております。 必要に応じて助言や支援をおこない、保護者様に寄り添った対応に努めております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえ、交流会等の機会を検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるよう配慮しております。 苦情への相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	42 定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASSだよりや、毎月の事業所だよりを発行し、公式Webサイトでは、最新情報のほか、事業所の活動が毎日ブログで紹介しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		一人ひとりの特性に応じて、口頭だけでなく、絵カードや書面を提示するなどの手段を活用して、情報伝達に配慮しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者などの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		現時点では、地域の方を招待するなどの交流は積極的に企画するまでには至っておりません。	個人情報の観点から、保護者様のご意向に沿って慎重かつ十分な配慮のうえ、検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定するとともに事業所に掲示し、定期的な訓練も実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、定期的に地震・火災・風水害を想定した訓練を実施しております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		契約時に必ず確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応が出来るよう共通理解を図っております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについても、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に保護者様より聞き取りを行い、全職員で情報を共有し、対応しております。 現在、医師の診断書はいたいただくような重篤なアレルギーの利用児童の診断書はおりませんが、今後保護者様より職員と情報共有し細心の注意を払いながら、対応してまいります。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	8		安全計画を全職員が周知できるよう、会社で作成した研修や訓練をおこない、万が一の際には安全計画に沿って行動できるよう努めてまいります。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		契約時や昨今、災害が増えているため、定期的に保護者様に安全確保についてお話しするよう心がけております。 また、事業所内に各種マニュアルや対策を掲示しております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有をおこない、事例をもとに再発防止に努めてまいります。	
	53 虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修、身体拘束適正化についての研修を全職員が受けております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書には、原則として身体拘束をおこなわない旨を記載しております。やむを得ず必要となる場合は、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載し、適切に対応してまいります。	